



多要素認証APIメソッド

Element Software

NetApp
November 12, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/element-software-128/api/reference_element_api_addidpclusteradmin.html on November 12, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

多要素認証APIメソッド	1
IdpClusterAdmin の追加	1
パラメータ	1
戻り値	2
リクエスト例	2
応答例	2
バージョン以降の新機能	3
IdpConfigurationの作成	3
パラメータ	3
戻り値	3
リクエスト例	3
応答例	4
バージョン以降の新機能	4
認証セッションの削除	5
パラメータ	5
戻り値	5
リクエスト例	5
応答例	5
バージョン以降の新機能	6
クラスタ管理者による認証セッションの削除	6
パラメータ	6
戻り値	7
リクエスト例	7
応答例	7
バージョン以降の新機能	8
ユーザー名による認証セッションの削除	8
パラメータ	8
戻り値	9
リクエスト例	10
応答例	10
バージョン以降の新機能	10
IdpConfiguration の削除	10
パラメータ	11
戻り値	11
リクエスト例	11
応答例	11
バージョン以降の新機能	11
Idp認証を無効にする	12
パラメータ	12

戻り値	12
リクエスト例	12
応答例	12
バージョン以降の新機能	12
IIdp認証を有効にする	12
パラメータ	13
戻り値	13
リクエスト例	13
応答例	13
バージョン以降の新機能	14
GetIIdpAuthenticationState	14
パラメータ	14
戻り値	14
リクエスト例	14
応答例	14
バージョン以降の新機能	14
アクティブ認証セッションのリスト	15
パラメータ	15
戻り値	15
リクエスト例	15
応答例	15
バージョン以降の新機能	16
ListIIdpConfigurations	16
パラメータ	16
戻り値	17
リクエスト例	17
応答例	17
バージョン以降の新機能	18
IIdpConfiguration の更新	18
パラメータ	18
戻り値	19
リクエスト例	20
応答例	20
バージョン以降の新機能	20

多要素認証APIメソッド

IdpClusterAdmin の追加

使用することができます `AddIdpClusterAdmin` サードパーティのアイデンティティ プロバイダー (IdP) によって認証されたクラスター管理者ユーザーを追加する方法。IdP クラスター管理者アカウントは、ユーザーに関連付けられた IdP の SAML アサーション内で提供される SAML 属性値情報に基づいて構成されます。ユーザーが IdP で正常に認証され、SAML アサーション内に複数の IdP クラスター管理者アカウントと一致する SAML 属性ステートメントがある場合、そのユーザーには、一致する IdP クラスター管理者アカウントの結合されたアクセス レベルが付与されます。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
アクセス	この IdP クラスター管理者が使用できるメソッドを制御します。	文字列配列	なし	はい
EULAを受け入れる	エンド ユーザ ライセンス契約に同意します。クラスター管理者アカウントをシステムに追加するには、true に設定します。省略または false に設定された場合、メソッド呼び出しは失敗します。	ブーリアン	なし	はい
attributes	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON オブジェクト	なし	いいえ

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
ユーザ名	IdP クラスター管理者への SAML 属性値マッピング (例: email=test@example.com)。これは、特定のSAMLサブジェクトを使用して定義できます。NameID` または `SAML 属性ストメントのエントリとして、例えば `eduPersonAffiliation`。	string	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
クラスター管理者ID	新しく作成されたクラスター管理者の一意の識別子。	integer

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "AddIdpClusterAdmin",
  "params": {
    "username": "email=test@example.com",
    "acceptEula": true,
    "access": ["administrator"]
  }
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "result": {
    "clusterAdminID": 13
  }
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

IdpConfigurationの作成

使用することができます `CreateIdpConfiguration` クラスターのサードパーティ ID プロバイダー (IdP) を使用して認証のための潜在的な信頼関係を作成する方法。IdP 通信には SAML サービス プロバイダー証明書が必要です。この証明書は必要に応じて生成され、この API 呼び出しによって返されます。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
idpメタデータ	保存する IdP メタデータ。	string	なし	はい
idp名	SAML 2.0 シングルサインオンの IdP プロバイダーを識別するため使用される名前。	string	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
idpConfigInfo	サードパーティの ID プロバイダー (IdP) 構成に関する情報。	"idpConfigInfo"

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "CreateIdpConfiguration",
  "params": {
    "idpMetadata": "<?xml version=\"1.0\" encoding=\"UTF-8\"?>
      <EntityDescriptor
        xmlns=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata\""
        xmlns:ds=\"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#\"
        xmlns:shibmd=\"urn:mace:shibboleth:metadata:1.0\""
        xmlns:xml=\"http://www.w3.org/XML/1998/namespace\""
        ...</Organization>
      </EntityDescriptor>",
    "idpName": "https://provider.name.url.com"
  },
}
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "result": {
    "idpConfigInfo": {
      "enabled": false,
      "idpConfigurationID": "f983c602-12f9-4c67-b214-bf505185cfed",
      "idpMetadata": "<?xml version=\"1.0\" encoding=\"UTF-8\"?>\r\n
        <EntityDescriptor
          xmlns=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata\"\r\n
          xmlns:ds=\"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#\\"\r\n
          xmlns:shibmd=\"urn:mace:shibboleth:metadata:1.0\"\r\n
          xmlns:xml=\"http://www.w3.org/XML/1998/namespace\"\r\n
          ... </Organization>\r\n
        </EntityDescriptor>",
      "idpName": "https://privider.name.url.com",
      "serviceProviderCertificate": "-----BEGIN CERTIFICATE-----\nMIID...SlBHi\n-----END CERTIFICATE-----\n",
      "spMetadataUrl": "https://10.193.100.100/auth/ui/saml2"
    }
  }
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

認証セッションの削除

使用することができます`DeleteAuthSession`個々のユーザー認証セッションを削除する方法。呼び出し元のユーザーが`ClusterAdmins / Administrator AccessGroup`に属していない場合は、呼び出し元のユーザーに属する認証セッションのみを削除できます。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
sessionID	削除する認証セッションの一意の識別子。	UUID	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
セッション	削除認証セッションのセッション情報。	"認証セッション情報"

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "DeleteAuthSession",
  "params": {
    "sessionID": "a862a8bb-2c5b-4774-a592-2148e2304713"
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "session": {
      "accessGroupList": [
        "administrator"
      ],
      "authMethod": "Cluster",
      "clusterAdminIDs": [
        1
      ],
      "finalTimeout": "2020-04-09T17:51:30Z",
      "idpConfigVersion": 0,
      "lastAccessTimeout": "2020-04-06T18:21:33Z",
      "sessionCreationTime": "2020-04-06T17:51:30Z",
      "sessionID": "a862a8bb-2c5b-4774-a592-2148e2304713",
      "username": "admin"
    }
  }
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

クラスタ管理者による認証セッションの削除

使用することができます `DeleteAuthSessionsByClusterAdmin`、指定された認証セッションをすべて削除するメソッド、`ClusterAdminID`。指定された `ClusterAdminID` がユーザー グループにマップされている場合、そのグループのすべてのメンバーのすべての認証セッションが削除されます。削除可能なセッションのリストを表示するには、`ListAuthSessionsByClusterAdmin` メソッドを、`ClusterAdminID` パラメータ。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
クラスター管理者ID	クラスター管理者の一意の識別子。	integer	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
セッション	削除された認証セッションのセッション情報。	"認証セッション情報"

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{  
  "method": "DeleteAuthSessionsByClusterAdmin",  
  "params": {  
    "clusterAdminID": 1  
  }  
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{  
  "sessions": [  
    {  
      "accessGroupList": [  
        "administrator"  
      ],  
      "authMethod": "Cluster",  
      "clusterAdminIDs": [  
        1  
      ],  
      "finalTimeout": "2020-03-14T19:21:24Z",  
      "idpConfigVersion": 0,  
      "lastAccessTimeout": "2020-03-11T19:51:24Z",  
      "sessionCreationTime": "2020-03-11T19:21:24Z",  
      "sessionID": "b12bfc64-f233-44df-8b9f-6fb6c011abf7",  
      "username": "admin"  
    }  
  ]  
}
```

ユーザー名による認証セッションの削除

使用することができます `DeleteAuthSessionsByUsername`、特定のユーザーのすべての認証セッションを削除するメソッド。 AccessGroup ClusterAdmins/Administrator に属していない発信者は、自分のセッションのみを削除できます。

ClusterAdmins/Administrator 権限を持つ呼び出し元は、任意のユーザーに属するセッションを削除できます。削除できるセッションのリストを表示するには、

`ListAuthSessionsByUsername` 同じパラメータで。削除可能なセッションのリストを表示するには、`ListAuthSessionsByUsername` 同じパラメータを持つメソッド。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
認証方法	<p>削除するユーザー セッションの認証方法。</p> <p>ClusterAdmins/Administrator AccessGroup 内の呼び出し元のみがこのパラメータを提供できます。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • authMethod=Cluster は ClusterAdmin ユーザー名を指定します。 • authMethod=LDAP はユーザーの LDAP DN を指定します。 • authMethod=Idp は、ユーザーの IdP UUID または NameID のいずれかを指定します。IdP がどちらのオプションも返すように設定されていない場合は、セッションの作成時に発行されたランダム UUID を指定します。 	認証方法	なし	いいえ
ユーザ名	ユーザーの一意の識別子。	string	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
セッション	削除された認証セッションのセッション情報。	"認証セッション情報"

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{  
  "method": "DeleteAuthSessionsByUsername",  
  "params": {  
    "authMethod": "Cluster",  
    "username": "admin"  
  }  
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{  
  "sessions": [  
    {  
      "accessGroupList": [  
        "administrator"  
      ],  
      "authMethod": "Cluster",  
      "clusterAdminIDs": [  
        1  
      ],  
      "finalTimeout": "2020-03-14T19:21:24Z",  
      "idpConfigVersion": 0,  
      "lastAccessTimeout": "2020-03-11T19:51:24Z",  
      "sessionCreationTime": "2020-03-11T19:21:24Z",  
      "sessionID": "b12bfc64-f233-44df-8b9f-6fb6c011abf7",  
      "username": "admin"  
    }  
  ]  
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

IdpConfiguration の削除

使用することができます `DeleteIdpConfiguration` クラスターのサードパーティ IdP の既存の構成を削除する方法。最後の IdP 構成を削除すると、クラスターから SAML サービ

ス プロバイダー証明書が削除されます。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
idp構成ID	サードパーティの IdP 構成の UUID。	UUID	なし	いいえ
idp名	SAML 2.0 シングル サインオンの IdP プロバイダーを識別および取得するためには 使用される名前。	string	なし	いいえ

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "DeleteIdpConfiguration",
  "params": {
    "idpConfigurationID": "f983c602-12f9-4c67-b214-bf505185cfed",
    "idpName": "https://provider.name.url.com"
  }
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "result": {}
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

Idp認証を無効にする

使用することができます `DisableIdpAuthentication` クラスターのサードパーティ IdP を使用した認証のサポートを無効にする方法。無効にすると、サードパーティの IdP によって認証されたユーザーはクラスターにアクセスできなくなり、アクティブな認証済みセッションはすべて無効化/切断されます。LDAP およびクラスター管理者は、サポートされている UI を介してクラスターにアクセスできます。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{  
  "method": "DisableIdpAuthentication",  
  "params": {}  
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{  
  "result": {}  
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

Idp認証を有効にする

使用することができます `EnableIdpAuthentication` クラスターのサードパーティ IdP を使用した認証のサポートを有効にする方法。IdP 認証が有効になると、LDAP およびクラスター管理者はサポートされている UI 経由でクラスターにアクセスできなくなり、アクティブな認証済みセッションはすべて無効化/切断されます。サードパーティの IdP に

よって認証されたユーザーのみが、サポートされている UI を介してクラスターにアクセスできます。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
idp構成ID	サードパーティの IdP 構成の UUID。IdP 構成が 1 つだけ存在する場合、デフォルトではその構成が有効になります。IdpConfiguration が 1 つしかない場合は、idpConfigurationID パラメータを指定する必要はありません。	UUID	なし	いいえ

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "EnableIdpAuthentication",
  "params": {
    "idpConfigurationID": "f983c602-12f9-4c67-b214-bf505185cfed",
  }
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "result": {}
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

GetIdpAuthenticationState

使用することができます `GetIdpAuthenticationState` サードパーティの IdP を使用した認証の状態に関する情報を返すメソッド。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
有効	サードパーティの IdP 認証が有効かどうかを示します。	ブーリアン

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{  
  "method": "GetIdpAuthenticationState"  
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{  
  "result": {"enabled": true}  
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

アクティブ認証セッションのリスト

使用することができます`ListActiveAuthSessions`すべてのアクティブな認証済みセッションを一覧表示するメソッド。管理アクセス権を持つユーザーのみがこのメソッドを呼び出すことができます。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
セッション	認証セッションのセッション情報。	"認証セッション情報"

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{  
  "method": "ListActiveAuthSessions"  
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "sessions": [
    {
      "accessGroupList": [
        "administrator"
      ],
      "authMethod": "Cluster",
      "clusterAdminIDs": [
        1
      ],
      "finalTimeout": "2020-03-14T19:21:24Z",
      "idpConfigVersion": 0,
      "lastAccessTimeout": "2020-03-11T19:51:24Z",
      "sessionCreationTime": "2020-03-11T19:21:24Z",
      "sessionID": "b12bfc64-f233-44df-8b9f-6fb6c011abf7",
      "username": "admin"
    }
  ]
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

ListIdpConfigurations

使用することができます `ListIdpConfigurations`、サードパーティの IdP の構成を一覧表示するメソッド。オプションとして、`enabledOnly` 現在有効になっている IdP 構成を取得するフラグ、または特定の IdP 構成の情報を照会するための IdP メタデータ UUID または IdP 名。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
有効のみ	結果をフィルタリングして、現在有効になっている IdP 構成を返します。	ブーリアン	なし	いいえ
idp構成ID	サードパーティの IdP 構成の UUID。	UUID	なし	いいえ

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
idp名	特定の IdP 名の IdP 構成情報を取得します。	string	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
idpConfigInfos	サードパーティの IdP 構成に関する情報。	"idpConfigInfo"配列

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "ListIdpConfigurations",
  "params": {}
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```

{
  "result": {
    "idpConfigInfo": {
      "enabled": true,
      "idpConfigurationID": "f983c602-12f9-4c67-b214-bf505185cfed",
      "idpMetadata": "<?xml version=\"1.0\" encoding=\"UTF-8\"?>\r\n<EntityDescriptor
xmlns=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata\"\r\n  xmlns:ds=\"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#\"\r\n  xmlns:shibmd=\"urn:mace:shibboleth:metadata:1.0\"\r\n  xmlns:xml=\"http://www.w3.org/XML/1998/namespace\"\r\n...</Organization>\r\n</EntityDescriptor>",
      "idpName": "https://privider.name.url.com",
      "serviceProviderCertificate": "-----BEGIN CERTIFICATE-----\nMI...BHi\r\n-----END CERTIFICATE-----\n",
      "spMetadataUrl": "https://10.193.100.100/auth/ui/saml2"
    }
  }
}

```

バージョン以降の新機能

12.0

IdpConfiguration の更新

使用することができます `UpdateIdpConfiguration` クラスターのサードパーティ IdP を使用して既存の構成を更新する方法。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
新しい証明書を生成する	true に指定すると、新しい SAML キーと証明書が生成され、既存のペアが置き換えられます。注意: 既存の証明書を置き換えると、クラスターのサービスプロバイダー メタデータが IdP で再コードされるまで、クラスターと IdP の間に確立された信頼が破壊されます。指定されない場合、または false に設定されている場合、SAML 証明書とキーは変更されません。	ブーリアン	なし	いいえ
idp構成ID	サードパーティの IdP 構成の UUID。	UUID	なし	いいえ
idpメタデータ	SAML 2.0 シングルサインオンの構成と統合の詳細に関する IdP メタデータ。	string	なし	いいえ
idp名	SAML 2.0 シングルサインオンの IdP プロバイダーを識別および取得するために使用される名前。	string	なし	いいえ
新しいidp名	指定すると、この名前が古い IdP 名に置き換えられます。	string	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
idpConfigInfo	サードパーティの IdP 構成に関する情報。	"idpConfigInfo"

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{  
  "method": "UpdateIdpConfiguration",  
  "params": {  
    "idpConfigurationID": "f983c602-12f9-4c67-b214-bf505185cfed",  
    "generateNewCertificate": true  
  }  
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{  
  "result": {  
    "idpConfigInfo": {  
      "enabled": true,  
      "idpConfigurationID": "f983c602-12f9-4c67-b214-bf505185cfed",  
      "idpMetadata": "<?xml version=\"1.0\" encoding=\"UTF-8\"?>\r\n<EntityDescriptor  
xmlns=\"urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:metadata\"\r\n  xmlns:ds=\"http://www.w3.org/2000/09/xmldsig#\"\r\n  xmlns:shibmd=\"urn:mace:shibboleth:metadata:1.0\"\r\n  xmlns:xml=\"http://www.w3.org/XML/1998/namespace\"\r\n  ...</Organization>\r\n</EntityDescriptor>",  
      "idpName": "https://privider.name.url.com",  
      "serviceProviderCertificate": "-----BEGIN CERTIFICATE-----\nMI...BHi\n-----END CERTIFICATE-----\n",  
      "spMetadataUrl": "https://10.193.100.100/auth/ui/saml2"  
    }  
  }  
}
```

バージョン以降の新機能

12.0

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。